



ともに伸びる馬室っ子 ~あせがきらきら馬室っ子~

令和5年10月31日

11月号

鴻巣市立馬室小学校

電話 541-0578

# 馬室小だより



## 「ひとつのことば」は

## ひとつの心をもっています

校長 齋地 満

先日、鴻巣市小学校陸上競技大会が行われ、6年生が体育授業や放課後練習で培った力を発揮し、一人一人が活躍する姿を見せてくれました。練習では、種目ごとのリーダーを中心に互いに声を掛け合って切磋琢磨する姿を多く見ることができました。特に、仲間が新記録を出した時に喜び合う姿やここぞと思った時に後押しする声援が素晴らしかったです。先生方の指導も加わり、前向きで和やかな雰囲気の中で行われた練習と陸上競技場での本番を通して、6年生はよい経験ができたと感じています。

さて、「言霊（ことだま）」という言葉があります。古代日本で、ことばに宿っていると信じられていた不思議な力であり、よいことばを発するとよいことが起こり、悪いことばを発すると凶事が起こると言われていました。ことばを大切にしようとする日本文化の表れなのでしょう。現代においても、ことばは人間の心を動かす力をもっており、人を元気にすることがあれば、人を傷つけることもあります。（SNS等の情報発信も同様です。）

学校生活では、たくさんのことばが飛び交っており、その多くは友達同士の楽しい会話です。しかし、時には感情に任せて言い放ってしまったことばが、言い争いやけんかに発展したり、誤解を生んだりする

こともあります。優しいことばが行き交えば、人間関係は和やかとなり、荒んだことばが行き交えば、人間関係も荒んできます。これも、ことばのもつ力なのでしょう。『ひとつのことば』という詩を紹介します。（作者には諸説あります。）ぜひ、親子で一緒に声に出して読んでみてください。

『ひとつのことば』

ひとつのことばを美しく	ひとつのことばを大切に	やさしいことばはやさしい心	きれいなことばはきれいな心	ひとつの心を持つことに	ひとつのことばはそれぞれに	ひとつのことばで泣かされる	ひとつのことばで楽しく笑い	ひとつのことばで心が痛む	ひとつのことばで頭が下がり	ひとつのことばでなかなおり	ひとつのことばでけんかして
-------------	-------------	---------------	---------------	-------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------



11月は、いじめ撲滅強調月間です。ひとつのことばを大切にし、きれいなことばや、やさしいことばを使うことによって、子供たちが楽しく学んで、仲よく過ごせる学校づくりに力を入れていきます。

5月に高田直芳埼玉県教育委員会教育長より県民の皆様に向け、「不祥事根絶に向けた教育長メッセージ」が発表されました。（HPに掲載）本校でも教職員の研修を継続して行っておりますが、保護者の皆様にも「教職員が児童生徒とメールやSNS等を通して私的な連絡はしないこと」（学校から児童生徒への連絡については、全て保護者を通して行います。）について改めて周知するよう連絡がありました。今後も、教職員一人一人が、「子供たちの未来を育てる」という崇高な使命を担っていることを自覚して、職務に励んで参ります。  
※任期により、6月19日から日吉 亨埼玉県教育委員会教育長が就任しています。